

算数オンライン塾 8月24日の問題解説

(1) 6段目は偶数段なので、左から数字がスタートします。

各段の一番小さい数字は、1、2、5、10、というように間の数は

1、3、5、と奇数ずつ増えていきますから、7段目の一番小さい数は

$1 + (1 + 3 + 5 + 7 + 9 + 11) = 37$ ですから、6段目の右から2番目は

$$37 - 2 = 35$$

(答え) 35

(2) 15段目の一番小さな数は

$$1 + (1 + 3 + 5 + \dots + 27) = 1 + (1 + 27) \times 14 \div 2 = 1 + 196 = 197$$

16段目の一番小さな数は

$$1 + (1 + 3 + 5 + \dots + 29) = 1 + (1 + 29) \times 15 \div 2 = 226 \text{ だから}$$

15段目の最後は225で、数字は $225 - 196 = 29$ 個並んでいます。

$$(197 + 225) \times 29 \div 2 = 6119$$

(答え) 6119

(3) 各段の一番小さな数は

1、2、5、10、17、26、37、50、65、82、101となるので、11段目にあります。11段目は奇数段なので、右から数字がスタートします。

$100 - 1 = 99$ から11段目の右から8番目です。

(答え) 11段目の右から8番目